

東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業に係る 規制事務所の気づき等について

令和元年 11 月 6 日
福島第一原子力規制事務所

1. 検査官が見た現場の状況＝「現場に目が行き届いておらずトラブルが多発」
2. コミュニケーションを通して見た東電職員の状況＝「余裕がない」
3. 指標データが示す状況＝「放管トラブル、不適合管理、業務管理が課題」
4. 組織改編の実効性確保に向けて＝「リソース確保と適正配分」

以上